真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月12日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 高齢者生きがい支援事業 | | 担当課・係 | 健康福祉部　高齢福祉課　高齢者福祉係 |
| 政策名　No | 2 | 「笑顔づくり」～安心と元気アップ！～ | 関連する SDGs･DX |  |
| 施策名　No | 3 | 高齢者福祉の充実 | | |

| 成果指標 | 名　称 | 単　位 | 初年度からの実績値の比較 R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | 目標値 R11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 老人クラブ会員数 | 人 | 1597 | | | | | |
| | シルバーサロン利用者数 | 人 | 12562 | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

**事業内容**

住み慣れた地域で生き生きと暮らし続けていけるよう、生きがいづくりや社会活動への参画支援を進める。
高齢者の交流の場、外出機械の支援により社会的孤立の防止を図る。

①老人クラブ支援　クラブ補助及び　グラウンドゴルフ、輪投げ、ペタンク、サークル活動への補助
　　いちごの湯送迎事業、研修センター送迎
②シルバーサロンの運営　午前９時～午後４時（月～土）（休館・・・火・日・祝日・年末年始）
　高齢者生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり、社会的孤立防止

**前年度の課題（Check）**

前年度転記

①【課題】
・高齢者人口は増加しているが、老人クラブ数や会員数は減少傾向である。
・クラブ活動を継続したいが、役員などのなり手が不在となり解散する状況がある。

②【課題】（前年度転記）
・利用フロア拡大後の事業の新規事業や新規利用者拡大に向けた検討。
・生きがいや仲間づくり、居場所としての利用促進。

**7年度振り返り**

【1】実績（Do）７年度に実施した事業

①老人クラブ支援　クラブ補助　及び　グラウンドゴルフ、輪投げ、ペタンク、サークル活動への補助
　いちごの湯送迎事業（年７回、計93回、1,867人）
　老人研修センター送迎（年７回、計123回、2,609人）

②シルバーサロンの運営　午前９時～午後４時（月～土）（休館・・・火・日・祝日・年末年始）
　開催日数242日　利用人数12,562人
　事業内容　健康体操、エコクラフト、歌声喫茶、気功、太極拳など
　高齢者生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり、社会的孤立防止
　R7～南フロアの利用開始。新規の活動の利用につながった。

【2】結果と課題（Check）

①老人クラブ支援　会員数は減少傾向である。
　R6と比較し、いちごの湯、老人研修センターの参加人数は増えている。

②シルバーサロン　R7フロア拡大（子育て支援センターの移転による）。
　今後も生きがいづくりや仲間づくりを支援する。
　北フロアはカーペット、南フロアはフローリングであることから、この1年で活動のすみ分けができた。

**今後の方向性と具体策**

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　■ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　□ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと

①老人クラブ支援　老人クラブの支援事業の見直しについて、中長期政策課題になっており、事業内容について検討をしていく。
　R8年度…老人クラブ連合会を担当する社会福祉協議会と協議していく。

②シルバーサロン　R6年度課題に「南フロア（旧子育て支援センター）の利用をどうするか」とある。
　R7年度は、新規団体が南フロアを活動するようになったほか、活動内容により北フロアとのすみ分けができた。
　R8年度…引き続き、利用促進を図っていく。（R8.4明治安田生命包括連携協定による健康マージャン初心者教室の開催　約30名参加）

(2) 長期的な計画で検討すること

①老人クラブ支援について検討をしていく。
高齢者実態調査では、80～90代は地域活動参加の場として老人クラブと回答する比率が高く、外出、交流の機会につながっていることが確認された。

②シルバーサロン　南フロアも含めた事業実施、利用促進をすすめていく。